



information

若宮井路は、明治34年(1901年)に通水したが、「あさじ地区」に水を流す為には濁淵川、笹無田川などの河川を横断しなければならなかった。中でも笹無田川の横断は通水当初から懸案となっていた。

当初、笹無田川の横断は鉄管サイフォン式で行われていたが大量の用水が勢いよく流れるためその圧力とサビに耐えられず明治36年に破裂してしまった。その後、木製の橋で通水させていたが、漏水が激しく、風が吹くと危険なため、永久的な構造物にすることが検討された。大正4年(1915)より、石橋に造り替える工事を始め、翌年5月に完成し通水させたが、通水五日後に大音響とともに崩壊してしまった。その音は遠く離れた受益地まで聞こえてきたと言われる。

早速、木製の橋で応急的に水を流し、一方で再度石橋建設を進めていった。そして、ついに大正6年5月8日、笹無田川をまたぐ大きな石造2連アーチ橋「若宮井路・笹無田石拱橋」が完成した。



笹無田石拱橋



← JR豊肥本線・R57が平行して走る



建設年	大正6年(1917年)
所在地	竹田市大字挾田
諸元	橋長59m、幅4m、高さ30m 形式2連アーチ橋
お問い合わせ	豊後大野市朝地町朝地891 朝地町土地改良区 TEL0974-74-1152 FAX0974-72-1156 http://www12.ocn.ne.jp/~asaji/